

未来を切り開く街、柏の葉

千葉県柏市。ここで未来を見つめた街づくり「柏の葉スマートシティプロジェクト」が進んでいる。つくばエクスプレス(TX)・柏の葉キャンパス駅周辺では起業家や研究者など多様な人や企業の交流を通じて、次代を担う新たな産業を生みだし、将来の企業集積を目指す動きが活発になっている。

始まる。エリア内の整備定だ。

KOILや東大フューチャーセンターなどの拠点が集積するゲートスクエアは柏の葉キャンパス駅前の「中核街区」。商業施設や住宅棟などが順次完成する予定で、7月にもすべての施設が開業してグランドオープンする予定だ。

街区内のホテル・賃貸住宅棟では「柏の葉スマートセンター」の運用も始まる。

TX開通から9年。柏

電や消費電力量などを最適化する括管理システム

アプローチしている

O2削減を進める。

それでも新しい取り組みで

活用と効率的な運用に

つて、温室効果ガス(CO2)

排出量削減を実現する

新規システム

(ANEWS)構築。街

全体でエネルギーを複数

化、未利用エネルギーによ

る効率的な運用に

つて、環境の創造とともに環境

アプローチしている

柏の葉スマートシティは

連携して取り組む街づくり

が大きく変貌を遂げた。この間

行政・大学・研究機関・

三井不動産などの企業が

か。30年後はどんな姿を

みてくれるのだろう

きだす柏の葉エリア。未

来を見つめた街の10年

後、後30年後はどんな姿を

みてくれるのだろう

課題解決型の街

7月に全面開業

中核街区「ゲートスクエア」



地区全体をけん引するゲートスクエア

りプロジェクト。「環境共生」「健康長寿」「新産業創造」の課題に対応して、街全体で解きたい。そうしている。創業に必要な基盤を整えて新産業を創り出す。企業集積地をつくり出す。多くの人や企業が集い、モノが行き交う場所から新しい恵みや技術、サードパーティが生まれる。産業経済のこと、環境こと、健康のこと。わが国が抱える問題解決に動いてきた。柏の葉エリア。未だ見つめた街の10年後、後30年後はどんな姿をみてくれるのだろう

柏の葉スマートシティは、この間、連携して取り組む街づくりが大きく変貌を遂げた。この間

行政・大学・研究機関・三井不動産などの企業が

か。30年後はどんな姿を

みてくれるのだろう

きだす柏の葉エリア。未

来を見つめた街の10年後、後30年後はどんな姿を

みてくれるのだろう